

## 令和2年度行政事業レビューシート

内閣府

事業名		匿名加工医療情報の利活用に必要な経費			担当部局	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)			作成責任者		
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室			参事官 田中 謙一			
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律(平成29年法律第28号)第3条、第8条、第28条、第35～37条 内閣府設置法(平成11年法律第89号)第4条第3項第7号の4				関係する計画、通知等	健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定) 医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針(平成30年4月27日閣議決定)等					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律(以下「次世代医療基盤法」とする)の国民による適切な理解に基づき、データ活用基盤の整備及び情報の利活用がさらに加速・高度化され、健康・医療に関する先端的研究開発及び新産業創出を促進し、もって健康長寿社会を実現することを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	次世代医療基盤法が円滑に施行され、産学官による匿名加工医療情報の積極的な利活用を推進するための事業を行う。具体的には、匿名加工医療情報の利活用に向けた課題の調査等を行う。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額(単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	-	61	61	96				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		0	0	61	61	96				
	執行額		-	-	55						
執行率(%)		-	-	90%							
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	90%							
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	諸謝金		61	96	「新型コロナウイルス対策関連要望額」35						
	-		-	-							
	-		-	-							
	-		-	-							
	計		61	96							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	次世代医療基盤法に基づく認定匿名加工医療情報作成事業者の収集規模人数		成果実績	万人	-	-	0	-	-		
			目標値	万人	-	-	0	900	-		
			達成度	%	-	-	0	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)		医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律についてのガイドライン(平成30年5月、内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省)									
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込			
	次世代医療基盤法に関する普及啓発及び匿名加工医療情報の利活用の推進のための説明数		活動実績	件	-	-	26	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	24	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込				
	普及啓発・利活用推進のための費用(円) / 説明数		単位当たりコスト	百万円	-	-	2.3	4			
計算式			百万円/件	-	-	61/26	96/24				

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	-										
	施策	-										
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	-											
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性			事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	健康・医療・介護データが分散しており、データベースごとに縦割りで活用できる主体が限られている現状において、国民や患者がメリットをより一層実感できるデータ利活用基盤の整備が求められている。本事業はオールジャパンのデータ利活用基盤の構築に向けて、次世代医療基盤法の円滑な施行を通じて、国民や社会のニーズに応えるものである。
			地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、次世代医療基盤法に基づき、産学官による利活用がさらに加速・高度化する好循環を実現していくために国において実施すべき施策を講ずるものである。
			政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、次世代医療基盤法の円滑な施行にあたっては、必要性が高いものである。加えて、第2期の「健康・医療戦略」や「成長戦略フォローアップ」(令和元年6月21日閣議決定)において「広報・啓発による国民の理解の増進を行うとともに、幅広い主体による匿名加工医療情報の医療分野の研究開発への利活用を推進する」と盛り込まれている。従って、優先度の高い事業である。
事業の効率性			競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により、競争性を確保に努めている。一方で、入札説明会に複数社参加があったものの、結果として一者応札となった。
			一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
			競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
			受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
			単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により、経費の効率化に努めていることから妥当である。
			資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	再委託については、再委託の方が効率的であるなど、真に必要なものに限っており、合理的である。
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用・使途は調査等の内容に則し、真に必要な経費に限定されている。
			不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
		繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性			成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	第1号の認定匿名加工医療情報作成事業者の認定が、令和元年12月であったため、医療情報の収集は今後進んでいく見込みである。
			事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
			活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	調査等の事業の内容が相互密接に関連していることから、一つの事業とし、効率的に実施した結果である。
			整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果については、関係者のみならず、一般の方にも広く情報提供しているほか、組織内での検討に活用されている。
関連事業			関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	契約に当たって、一般競争入札により、競争性を確保するとともに、経費の効率化に努めているが、結果として一者応札となった。			
	改善の方向性	引き続き、競争性の確保、経費の効率化に努めることとし、認定事業の動向も踏まえつつ、事業の効率的・効果的な実施を図っていく。特に、入札公告に際しては、当該事業が実施可能と思われる事業者へ、公告に関する情報の提供を行うこととする。			

**外部有識者の所見**

当該事業の内容である情報の利活用に向けた課題の調査は、施策全体のための医療情報の収集規模というアウトカムとの関連性が不明確であり、また、アウトプットの調査の事業数も、レビューシートの方針の流れにみるとおり、どのような単位・区分で捉えるかで恣意的になる可能性があり、不適切ではないかと思われる。

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現  
状  
通  
り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。  
また、外部有識者の所見を踏まえ、成果目標及び活動指標の設定の見直しを行うこと。

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

現  
状  
通  
り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させる。また、活動指標及び活動実績を、次世代医療基盤法に関する普及啓発及び匿名加工医療情報の利活用の推進のための説明数に変更した。なお、「認定匿名加工医療情報作成事業者の収集規模人数」という成果指標については、匿名加工医療情報の利活用が推進されて医療分野の研究開発の成果が現場に還元されることにより、医療情報の提供に関する国民・患者の協力が得られ、医療情報の収集規模が大きくなることにかんがみると、適切なものと思料される。

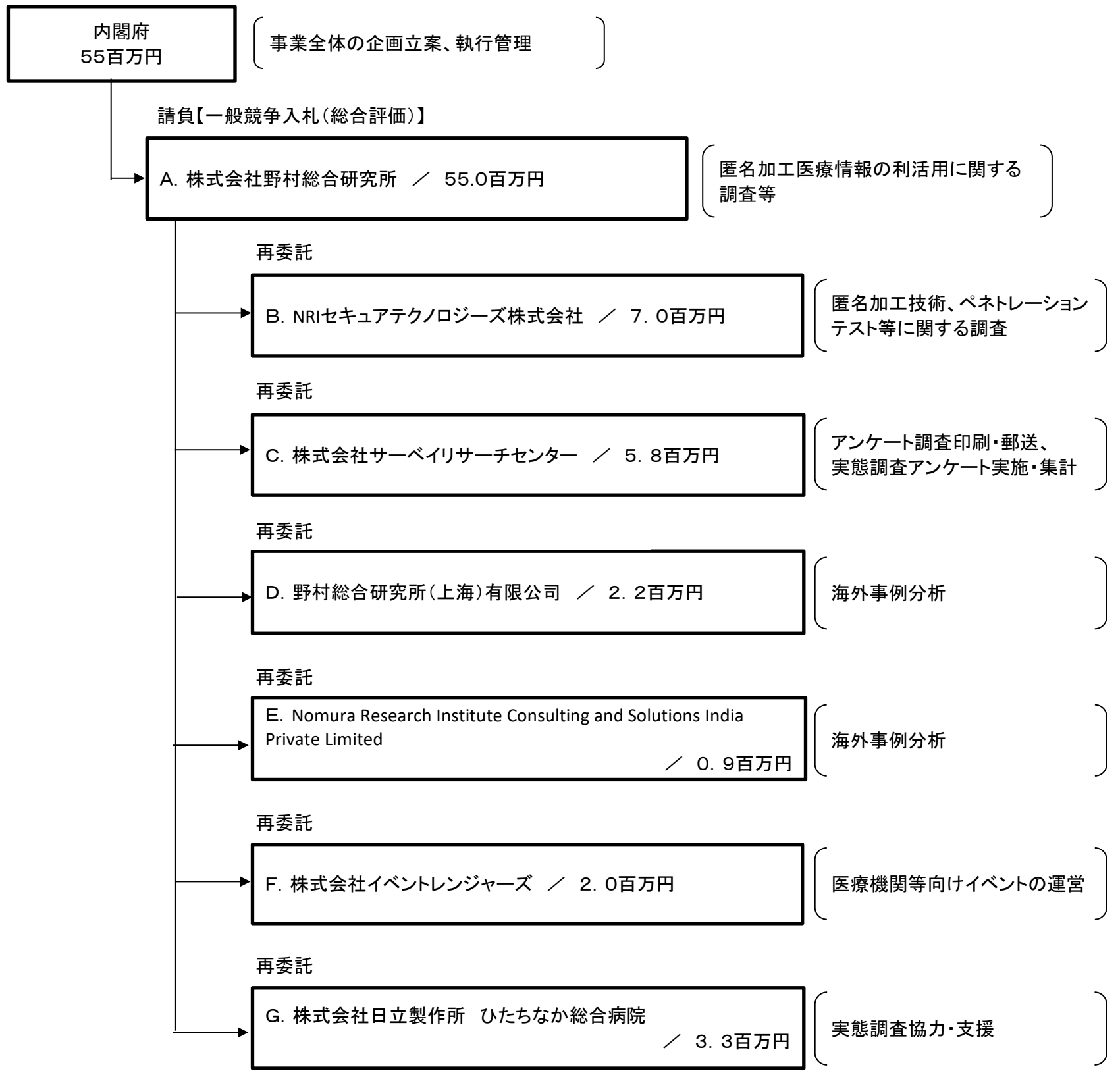
**備考**

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	-						
平成31年度	内閣府 ( 新31 - 0012 )						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



A.株式会社野村総合研究所			B.NRIセキュアテクノロジーズ株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	匿名加工医療情報の利活用に関する調査等	33.8	調査費	匿名加工技術、ペネトレーションテスト等に関する調査	7
外注費		21.2			
計		55	計		7
C.株式会社サーベイリサーチセンター			D.野村総合研究所(上海)有限公司		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑務費	アンケート調査印刷・郵送、実態調査アンケート実施・集計	5.8	調査費	海外事例分析	2.2
計		5.8	計		2.2
E.Nomura Research Institute Consulting and Solutions India Private Limited			F.株式会社イベントレンジャーズ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	海外事例分析	0.9	雑務費	医療機関等向けイベントの運営	2
計		0.9	計		2
G.株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑務費	実態調査協力・支援	3.3			
計		3.3	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	匿名加工医療情報の利活用に関する調査等	55	一般競争契約 (総合評価)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから非公表としている。

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	NRIセキュアテクノロジーズ株式会社	8010401084443	匿名加工技術、ペネトレーションテスト等に関する調査	7	その他	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社サーベイリサーチセンター	6011501006529	アンケート調査印刷・郵送、実態調査アンケート実施・集計	5.8	その他	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	野村総合研究所(上海)有限公司	-	海外事例分析	2.2	その他	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	Nomura Research Institute Consulting and Solutions India Private Limited	-	海外事例分析	0.9	その他	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社イベントレンジャーズ	8010401039050	医療機関等向けイベントの運営	2	その他	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立製作所ひたちなか総合病院	-	実態調査協力・支援	3.3	その他	-	-	